

学会誌「建築史学」の電子アーカイブ化・公開に関する告知（お願い）

建築史学会（以下「本会」）は、1983 年の創刊以来、学会誌「建築史学（Journal of Society of Architectural Historians of Japan）」（以下「本誌」）を刊行して参りました。34 年の長きに渡り本誌を刊行できましたことは、ひとえに会員各位のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

この度、独立行政法人科学技術振興機構（以下「JST」）の支援を受けて、本誌に掲載された論文・記事を創刊号に遡って電子化し、JST で運用している電子アーカイブサイト J-STAGE（Journal@rchive）にて直近一年を除き全文無料公開することが、2017 年の常任委員会です承されました。

本誌の投稿規程では、論文・記事ともに著作権は著者に帰属し、本会は編集出版権のみ持つものと定めておりますが、本誌の電子アーカイブ化・公開にあたっては、電子化された論文・記事はすべて JST のサーバに保存されるため、著作権の中でも「複製権」「公衆送信権」は、本会に帰属していることが条件となります。

これらの事情から、本電子アーカイブ化を進めるにあたり、創刊号以来の著作について、著作権の中でも「複製権」「公衆送信権」に限り、本会ならびに本会が委託する機関において行使することの、許諾をお願い申し上げます。

万一、この件に関しましてご了承いただけない場合、あるいはご不審の点がある場合は、2017 年 12 月末日までに本会事務局に文書または電子メールでお申し出下さい。本会は、このお知らせが著者の皆様の目に触れることを前提としておりますが、何らかの事情でこの件をお知りになる機会がなかった場合には、期限を過ぎましても、あらためて個別にご相談させていただく所存です。なお、お申し出のない場合には、ご了承いただいたものとし、電子アーカイブとして公開する時期が参りました段階で、論文・記事を掲載させていただきたく存じますが、公開後の会員ならびに著者の皆様からの記事取り下げ要求に際しても柔軟に対応させていただきます。

今回の許諾のお願いは本誌の電子化公開が目的であり、これまで著者の皆様が有していた権利としての研究活動のための論文の個人的利用等についてはこれまでと同様です。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

【本件に関するお問合せ】

建築史学会 本部事務局

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学工学部建築学科建築史研究室気付

E-mail : office@sahj.org